

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
大	事	業	501	地域振興事務事業	中	事	業	01	地域振興事務事業(丸岡)
小	事	業							他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	■丸岡古城まつり
--------------	----------

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	丸岡支所
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		地域振興課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進		
	施策	1-1	シティーセールスの強化		
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有	まちづくり推進課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	9,399	9,295	9,397	104
	人件費	10,180	12,974	12,627	△ 2,794
	総事業費	19,579	22,269	22,024	△ 2,690
人員	正職員	1.48 人	1.81 人	1.82 人	△ 0.33 人
	臨時職員	0.16 人	0.16 人	0.16 人	0.00 人
	人員計	1.64 人	1.97 人	1.98 人	△ 0.33 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	6,000	0	1,500	6,000
	一般財源	13,579	22,269	20,524	△ 8,690

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
丸岡地区に係ることや支所が所掌する事務等について、地域住民の意見を反映させ、住民と行政の協働によるまちづくりを推進する。

【事業の概要】

- 需用費 97 千円
 - 修繕料 手作り鎧兜修繕料 97 千円
- 委託料 800 千円
 - 手作り鎧兜製作委託料
- 原材料費 702 千円
 - 手作り鎧兜製作材料費
- 負担金、補助及び交付金 7,800 千円
 - 丸岡まつり振興会事業補助金 600 千円
 - 古城まつり事業補助金 6,000 千円
 - 支所所管区域体育祭等事業費補助金 1,200 千円

4. 事業の成果

評価指標	単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	
指標 独自指標	古城まつり参加及び人数	人	目標		3,000	3,000	2,000	2,000
			実績		3,000	3,000	3,000	2,800
		達成率(%)		0.0	100.0	100.0	150.0	140.0
指標の説明		実行委員会から当日参加者の総人数(観覧者は含まず)						
指標 独自指標	古城まつり全体事業費に対する自己収入財源の割合	%	目標		40	40	40	40
			実績		55	50	35	45
		達成率(%)		0.0	137.5	124.8	87.5	112.5
指標の説明		協力金(協賛金、地区協力金)+雑入(出店料等) / 支出総額						
指標 独自指標	丸岡スポーツレクレーション祭の参加人数	人	目標		2,000	2,000	1,000	1,000
			実績		2,589	2,413	2,418	1,796
		達成率(%)		0.0	129.5	120.7	241.8	179.6
指標の説明		競技参加者439人、チャレンジコーナー等1,933人						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	事務局の移行や公募による人選といった実行委員会の見直しを図ることで、まつりに携わる人々が増え、古城まつりを地域住民とともに協働で実施することができました。スポーツレクレーション祭でも初心者気軽スポーツに親しむことができるよう、実施内容を工夫し参加者の増を図りました。両事業とも、地域間、個人間といった、横の連携が図ることが出来ました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	まつりに参加する人々は増えていますが、若年層への浸透が低い状況です。国宝化を目指す古城にふさわしいイベントの在り方を踏襲しつつ、若年者層を取り込んで、協働のまちづくりを担う新しい人材の発掘や事業への参加など工夫が求められます。		
	古城まつりの運営母体である実行委員会を中心に市民の声をまつりに反映させるよう努めました。実行委員会での審議をより深めていくために、古城まつりもりあげ隊を組織し、もりあげ隊のメンバーが実行委員に加わることで、市民のアイデアをまつりの企画に盛り込むことができ、市民参加のすそ野が広がりました。スポレク祭の実施種目など、内容を毎年工夫し参加者増に努めています。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容（小事業）	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	地域振興事務事業（丸岡）	継続	古城まつりの運営母体である実行委員会を中心に運営できるよう支援していく。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	超高齢化問題や若年者層の人口流出問題など、地域を取り巻く環境の変化の中で、丸岡城という地域の宝を活かしなが、地域に住む人々が誇りに思い、市のイメージアップに貢献できるよう、発信力の高いまつりへ見直しを図っていきます。また、若年者層を取り込んでいけるよう、事業内容の工夫を図り、新しい人材の発掘を行っていきます。
目標年度			
中長期的な方向性	改善（見直し）		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-1	シティーセールスの強化
	施策項目	シビックプライドの醸成と周知活動				
実施事業名（小事業）	地域振興事務事業（丸岡）					
事業で得られたノウハウや気づき等	人口減少社会、少子高齢化時代を迎え、このような中で約50年もの長い年月受け継がれてきた「丸岡古城まつり」を実施していく目的はシビックプライドの醸成にあります。ただ単に楽しむだけのまつりではなく、人口減少が進む地域にとって「何とか地域に活気を取り戻したい」「もっと地域の繋がりを強くしたい」という住民の声に「丸岡古城まつり」は欠かすことのできない地域イベントです。					
	このような中で「丸岡古城まつり」を実施するにあたり「過去・現在・将来」という時間軸が重要であることに気づきました。以前、この地域にあった活気を取り戻していこうという「過去」に基準を考えるのが地域活性化であるとするならば、今ある資源を活かし、これからも住み続けたいと思える、希望を持てる地域を住民自ら創っていこうという「将来」を基準にした新しい「まちづくり」、この思想を行政と住民で共有しなければならないと当該事業を通じて得ることができました。					
	経済効果は言うまでもありませんが、伝統なども含めた地域コミュニケーションの輪が築かれるよう地方創生に寄与する事業として引き続き実施してまいります。					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	社会福祉施設費
大事業	001	社会福祉施設管理運営事業			中事業	06	丸岡総合福祉保健施設管理運営事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	公共サービスの民営化
--------------	------------

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管 部局	丸岡支所
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		地域振興課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-4	公共施設の効率的な維持管理		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市丸岡総合福祉保健センター条例、同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	84,727	58,394	81,791	26,333
	人件費	7,153	4,414	4,766	2,739
	総事業費	91,880	62,808	86,557	29,072
人員	正職員	1.07 人	0.63 人	0.71 人	0.44 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.07 人	0.63 人	0.71 人	0.44 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	27,900	0	0	27,900
	一般財源	63,980	62,808	86,557	1,172

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
総合的な地域福祉の拠点である丸岡総合福祉保健施設を安全で適正かつ効果的、効率的な管理運営を行い、市民の福祉増進を図る。

【事業の概要】

◆丸岡総合福祉保健施設管理運営事業 丸岡 84,727 千円
温泉、丸岡子育て支援センター、住民健診、ディサービスなど福祉サービスを機能を併設した当該施設を㈱ユーサイキアが指定管理者として管理運営を実施。

- 指定管理者 株式会社 ユーサイキア
- 指定期間 平成28年4月1日から平成31年3月31日

○需用費 福祉棟トイレ修繕 2,095 千円
○役務費 153 千円

○委託料 55,814 千円
温泉成分検査手数料 76 千円
設計委託料 3,364 千円
火災保険料 77 千円
丸岡総合福祉保健センター指定管理委託料 52,450 千円

○工事請負費 建物改修工事費 26,090 千円
○負担金 台風20号、24号による被害修繕負担金 575 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	顧客満足度	%	目標		70	60	60	80
			実績		77	67	67	81
		達成率(%)	0.0	110.0	111.3	111.4	101.5	
指標の説明		利用者アンケート実施 総合満足度より						
指標	利用人数	人	目標		290,000	290,000	290,000	290,000
			実績		233,777	244,117	238,226	253,155
		達成率(%)	0.0	80.6	84.2	82.1	87.3	
指標の説明								
指標	利用料収入	千円	目標		109,150	107,300	106,809	105,000
			実績		83,372	89,696	88,262	93,449
		達成率(%)	0.0	76.4	83.6	82.6	89.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	適正な管理運営がなされ、安全管理、危機管理体制も確立されています。利用者に満足いただけるよう、健康プログラムなどの多彩な自主事業の実施、レストランのメニューの充実など、顧客満足度の向上に努めています。利用者、利用料金ともに前年度を上回っているものの、目標値を達成できなかったことから、リピーターの確保や新規利用者増へ努力が必要です。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	供用開始以来20年が経過し施設や設備の老朽化が進み、利用者の高齢化など施設の利用者層に偏りが見られます。平成30年度に予定している大規模改修工事、リニューアルオープンを契機に利用者増につながる管理運営を図っていく必要があります。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	丸岡総合福祉保健施設管理運営事業	継続	リニューアルオープンを契機とし、温泉利用をはじめ幅広い年齢層や様々なニーズに対応できる運動マシンや健康プログラムで市民の健康づくりを後押しします。安全管理、危機管理体制を確立し施設の維持管理を適切に行っていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	改善（見直し）	方向性の理由	施設の老朽化が進んでいることから平成30年度に大規模改修を行います。また、効果的、効率的な公共施設の管理運営を行っていくため、利用の拡大につながるよう民間のノウハウを活かした指定管理者の導入を引き続き実施していきます。
目標年度 平成30年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-4	公共施設の効率的な維持管理
	施策項目	公共サービスの民営化				
実施事業名 (小事業)	丸岡総合福祉保健施設管理運営事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	人口減少社会、少子高齢化時代を迎え日帰り温泉施設を利用する年齢層が高齢化してきています。 日帰り入浴施設は、20年前にブームが起きた健康ランドに始まり、現在は健康増進を兼ね備えた利用者は50歳以上が殆どで、新規利用者、特に若者をいかに取り込んでいけるかが重要であることに気づきました。 高度化、多様化する公共サービスへ対応するため指定管理者のノウハウを活用した運営が求められます。					